

令和 6 年度 稲沢市地域自立支援協議会 第 3 回地域生活支援部会 議事要旨

【日 時】令和 7 年 2 月 13 日（木）午後 2 時～午後 3 時 15 分

【場 所】稲沢市役所 東庁舎 1 階 会議室 8

【出席者】地域生活支援部会委員 4 名 事務局 5 名

【欠席者】2 名

【議 事】

あいさつ（部会長）

1 協議事項

(1)地域生活支援拠点の充実（評価結果における不足部分の充実）（事務局から説明）

1) 令和 6 年度の取り組みについて

ア 前回部会報告（10 月 3 日）

イ 令和 6 年度 取り組む課題

- ・「あらかると」への掲載による「体験の機会・場」の周知
- ・養成した人材の稼働状況の確認
- ・社会資源マップの作成

ア、イについて

部会長 今年度取り組む課題は、「あらかると」に関連する部分が多い。現在、すでに既定のフォーマットを基に、各事業所で記入している。意見等があれば次年度分から修正していく。

委員 A 「あらかると」については、充実したものになるだろうと感じた。また、養成した人材の稼働状況アンケートを実施したことで、今後開催する研修会がより効果的なものになるよう工夫できると思う。

委員 B 法人単位で載せるのは見やすいと思う。作成する側も作りやすい。社会資源マップの表示について、青と黒の組み合わせは見づらい。タクシー事業者一覧は大変ありがたい。

委員 C 自分の地域にある事業所がマップで分かりやすく、色々な繋がりが増えていくと良い。稼働状況のアンケートについては、回収率がもう少しよくなると良い。提出されていない事業所に再度送ってはどうか。せっかく協議会として研修会を開いているため、より現場に活かしていけると良い。

部会長 相談員にとって、市内の事業所一覧は非常にありがたい。今後、入力・作成する段階で改善点も出てくると思うが、それは次年度に皆で意見を出し合っていければと思う。試しに規定のフォーマットで入力してみたが、意外と書ける量が少なかった。もう少し情報を入れられれば、なお良かった。

ウ その他の取り組み

- ・地域生活支援拠点登録事業所数 29 事業所／81 事業所中
 - ・緊急時対応登録数 26 名
(内訳 身体のみ 1 名、知的のみ 18 名、精神のみ 1 名、身体・知的 4 名、
身体・精神 2 名)
 - ・緊急時対応事例 未登録 1 件報告 (サポートセンターこうのみや)
 - ・登録者ごとの支援会議 開催なし
 - ・地域生活支援拠点ネットワーク会議 (3 月 4 日 (火))
- 部会長 緊急時対応事例について、一週間、訪問看護と生活介護の事業所が対応してくれたということだが、プラス α な部分の補償はあったのか。
- 事務局 金額の支払いはない。駆けつけ応援が該当する場合は一定のお金が出る。
- 部会長 今回はたまたま利用している事業所がプラス α で受け止めている。その部分に補償があると良いと思う。
- 委員 C 駆けつけ応援は、どこからお金が出るのか。
- 事務局 各事業所が請求事務等でやり取りするのは、基幹センターである。
- 部会長 稲沢市はそういう部分の話し合いがちゃんと出来ている。
- 委員 C 緊急時に、登録事業所として受入れしたくても空いていないため、受け入れられないなど、課題があり解決は難しい。
- 事務局 駆けつけ応援は、拠点登録している事業所が対象になる。例えば、緊急時、はなのきの里の短期入所を使われ、普段、使っている生活介護の職員が応援に行ったとしても、その生活介護の事業所が拠点登録していなければ、先ほどの話は成り立たない。拠点事業は、お金目的で登録されることではないと思うが、それも含めて拠点登録いただけると良い。
- 部会長 それを聞くと登録しなければ、と思うのではないか。全事業所連絡会で、登録することによって補償される場合があることを知らせるのも良いのではないか。
- 委員 A 担当ケースで、緊急時登録をした方が良いと思われるかたがいる。A 型事業所を利用しており、事前登録をしたほうが良いと思うが、緊急時はヘルパーの支援を希望され、現在は利用していない。そういった場合、計画にまた変更をかけて支給決定を受けていくことになるのか。
- 事務局 緊急時対応シートと申請書をいただき、基幹センターと共有して情報を把握する。緊急時対応を登録しているのであれば、受給者証にも緊急時対応登録者として記載されるので、通所されている事業所も見られる。
- 委員 A そのかたが、A 型から一般就労に移行した場合、普段のサービス利用がなくなるが、緊急時に備えるだけの計画案を作成することになるのか。
- 事務局 詳細を後ほど教えてほしい。
- 部会長 地域移行してステップアップされるかたも当然いるので、そういうことがあると

わかるケースだと思う。登録者ごとの支援会議は開催がなかったということであるため、また相談支援事業所連絡会で各事業所にケースを出してもらえるよう伝えてほしい。

3月4日の地域生活支援拠点ネットワーク会議は、グループワークを行い、横のつながりを強化していきたい。内容について何か提案はあるか。今回の緊急時対応をテーマにして、自分たちで何ができて、何が出来ないのかを洗い出すのも良いのでは、と考えている。

委員 A 事例をつかって、シミュレーションすることが大切だと思う。実際、登録しても、登録しただけになってしまってもいけない。

委員 C 自分のところだけでは受け入れできなくても、短期入所が必要な期間を、横のつながりをもって対応できればいいのかなと思う。

部会長 作業部会で実施するグループワークのグループ分けはどのようにするか。

委員 C 事業種別等、各グループで重ならないようにしたほうがいいのではないか。

部会長 各グループには相談員が入ってもらえると良い。次回の地域生活支援拠点ネットワーク会議には全相談員に案内は出しているか。

事務局 登録事業所のネットワーク会議なので、登録事業所のみに通知している。

部会長 相談員は拠点に登録していなくても、参加できると良い。こういうシステムがあるのであれば、自分が担当する人が登録しようと思うかもしれないため、相談員には登録の有無に関わらず、アナウンスしてほしい。

2) 令和6年度評価について

部会長 今年度の評価について、ご意見があればお聞かせいただきたい。(異議なし)

(2) 災害時の対応等に関すること(事務局から説明)

・関係機関の連携強化、意識統一等

ア 取り組み(案)について

部会長 災害時の対応に関する取り組み案が4つあり、1と4に関しては現在やれていると思うが、2、3についてはどこまでできるか分からない。内容が多いため、少しずつでも進めていけたらと思う。アンケートに関しては、災害時の対応等についてどんなことが課題になるのか洗い出しをし、しっかり吸い上げていかなければいけない。

事務局 2「資機材の組立訓練」の試行については、運営会議や本会議で、やる意味があるのか、福祉避難所の開設訓練などのほうが、意味があるのではないかという意見がある。ただ、福祉避難所においては、実際災害が起きて福祉避難所を開設するとなった場合において、果たしてどこまで有効に機能するのか疑問とのことであるため、そうしたところも含めて、ひとまずアンケートや支援者の話を聞き、来年度以

降も協議を継続していくこととなるのでは、と考えている。

部会長 まずアンケートを実施することによって、色々な課題が見えてくると思う。

委員 A BCP やどれくらい活用できるのか、連携について市内の各事業所がどれくらいやっているのかなどアンケートを取って、どういったところに課題があるのか、が見えるのではないかな。その課題に対しての取組みを行っていったほうが、より効果的なのではないかな。アンケートの内容についてはこれで問題ないと思う。

委員 B アンケートの内容は事務局（案）のとおりで良いと思う。

委員 C 訓練や職員研修に関しては、一般的に言われていることはやっても、利用者と避難経路を一緒に歩くなど深い部分までできていないのが現状で、見直しもできていない。アンケートを実施することによって課題が見つかり、いいと思う。

2 その他

2月19日（水）こども部会作業部会（医療的ケア児支援ネットワーク会議）への出席について、事務局から確認。